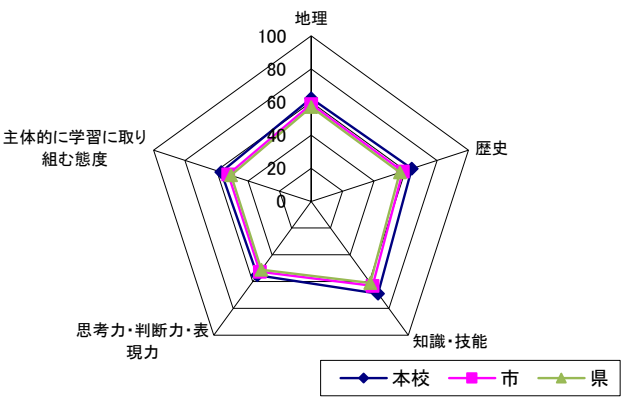


宇都宮市立豊郷中学校 第2学年【社会】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	地理	62.2	58.7	57.0
	歴史	64.0	58.3	56.4
観点	知識・技能	69.0	63.1	61.0
	思考力・判断力・表現力	55.3	52.5	51.1
	主体的に学習に取り組む態度	57.1	52.6	50.8



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
地理	○平均正答率は、市の平均より3.5ポイント上回った。世界の姿や日本の姿は特によく身につけている。 ●アジア州での農業生産についての資料活用分野では、県の平均より4.3ポイント下回った。資料の読み取りと表現を苦手としている生徒がいる。	・基本的な内容の定着はおおむねみられるが、応用問題の対応に課題が見られる。授業の中で、多様な意見や見方考え方を広げ、柔軟な思考力を培っていく。 ・市町村平均と比べて世界の諸地域のみ平均正答率が下回っているため、各州ごとの内容を日本の諸地域と関連させ、復習を織り交ぜながら、定着を図っていく。
歴史	○平均正答率は、市の平均より5.7ポイント上回った。飛鳥時代から平安時代に関してはよく身につけている。 ●勘合貿易についての問題の正答率が、県の平均より9.6ポイント下回った。室町時代の外交についての復習について課題が見られた。	・外交や生活の様子など、繰り返し授業の中で復習を取り入れ、各時代ごとの変化や特徴を捉える力を養っていく。 ・文献資料や、地図資料の活用を広げ、多角的な視野で物事をとらえる見方をさせていく。